

雇用調整等に伴う調整費用の推定

亜細亜大学経済学部経済学科 浅野博勝

目的 企業が生産投入物(労働や資本財など)を変更しようとするときに発生する費用(人件費や設備投資を除いた調整費用)の大きさを推定する。

内容 将来にわたる利益の現在価値を最大にしようとする企業の行動を示すベルマン方程式を近似的の解くことでその企業の生産投入物の最適な量を求め、その解と実データの相関係数をモーメント条件下で最大にするようにベルマン方程式中の未知のパラメータの数値(調整費用のサイズ)を決定する。

結果 調整費用の推定値が得られ始めたが、経済学的に合理的なパラメータ領域における方程式の特性を把握する。その後、パラメータの推定値と標準誤差を計算する。

利用した計算機	SX-8R
CPU時間	1時間~10時間
使用メモリ	1GB未満
ベクトル化率	99%
並列化	4並列